

1 社会・治安情勢

(1) 国家の統治及び社会秩序を著しく不安定にするような暴動等の発生は確認されていないが、殺人、麻薬の密輸、人身売買事案など凶悪事件の発生や検挙が日々報道されている。また、旅行者や滞在者に対するスリや置き引きなどの犯罪被害も当館に報告されており、一般治安状況については一定の注意を要する。

昨年5月にハノイ市内を含むベトナム全土において大規模な中国に対する抗議行動が行われたが、南シナ海情勢をめぐりその後同様の抗議行動の発生は確認されていない。しかし、今後の情勢いかんでは、再び中国に対して抗議活動が行われる可能性も否定出来ない。

(2) 当地の対日感情を損なう情報には特段接していない。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) ハノイ市統計局ホームページに掲載されている記事から今年9か月間のハノイ市における犯罪発生状況及び検挙状況等を抜粋したもの。（平成27年1月～9月実績）

【刑法犯関係】

ア 刑法犯発生件数：4,344件（前年同期比+1.0%）

イ 刑法犯検挙件数：3,496件（前年同期比+3.2%）

ウ 刑法犯検挙人員：6,463人（前年同期比+0.9%）

【薬物犯罪関係】

ア 薬物犯罪検挙件数：1,964件（前年同期比-11.5%）

イ 薬物犯罪検挙人員：2,428人（前年同期比-13.1%）

【交通事故関係】

ア 事故発生件数：1,277件

イ 事故死亡者数：440人

ウ 事故負傷者数：1,064人

(2) 邦人被害事案

8月中旬の夜間、ハノイを訪れていた邦人観光客が、ホアンキエム湖周辺のナイトマーケットにおいて、背負っていたバッグから財布やカメラ等が盗まれる窃盗被害が発生している。

(3) 邦人以外の被害事案

ア 8月6日、ノイバイ国際空港で働く貨物運搬監視係員のベトナム人男性が、航空貨物から金品を盗んだ容疑で逮捕された。同人は、運搬係と結託して盗みを繰り返しており、当地官憲は共犯者がいるものとみて捜査を継続している。

イ 9月22日、ハノイ市内ホアンキエム区において、フランス植民地時代に建てられた2階建て家屋が倒壊し、住人2名が死亡、6名が負傷する事案が発生した。

ハノイ市内には、フランス植民地時代に建てられたフランス様式のものも含め、

古い家屋が多数存在している。これらの多くは老朽化が進み、安全対策も行われていないため注意を要する。

3 テロ・爆弾事件等発生状況

テロ事件の発生については認知していないが、9月11日ハノイ市内ドンダー区的路地裏にある民家玄関に手製爆弾が仕掛けられ通行人や住人が死傷する殺人等事件が発生している。当地官憲は、無差別殺傷を図ったものではなく、民家住民を狙った可能性が高いものとみて現在捜査している。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人の誘拐・脅迫事件の発生は認知していない。

5 日本企業の安全に係わる諸問題

日本企業に対する事件やストライキの発生件数（当館把握数）は0件であった。